



新田中だより

令和 6 年 7 月 1 日 発行

草加市立新田中学校 生徒数 421 名

学校教育目標：『豊かな心と学ぶ意欲をもち、広い世界でたくましく生きる生徒』

「感謝」と「思いやり」

校長 遠 藤 淳 一

先日、学校総合体育大会が行われました。まだまだ県大会に進んでいる部活動もありますが、多くの3年生は引退となりました。3年間で培ったものは何にも代えがたい貴重な財産となっているはずです。この心身の成長を、是非、今後に活かしてください。特に、共に過ごした仲間、いつも応援してくださった御家族、熱心に指導してくださった顧問の先生への「感謝」を忘れないでください。

ドリフターズの故いかりや長介さんが生前に残した言葉があります。

「ありがとう」を言える人間になりなさい。
「ごめんなさい」を言える人間になりなさい。
嘘をつく人間にはならないこと。

この言葉の全てが相手への「感謝」なのだと思います。また、誰が言ったのかは分かりませんが、私の中に「**感謝の心が人を育て、感謝の心が自分を磨く**」という言葉が残っています。やはり、社会の中で多くの人と接して生きていく上で最も欠かせないものが「感謝」なのです。そして、この心は「思いやり」にもつながります。「思いやり」とは「相手の気持ちになって考えること」です。

相手の目で見たらどのように見えるだろう。
相手の耳で聞いたらどのように聞こえるだろう。
いくら頑張っても相手の気持ちにはなれないし立場にもなれない。
だけど、相手を思いやる気持ちはきっと相手に伝わる。

お互いに完全には分かり合えません。そうであれば、**相手を理解しようという気持ち(他者理解)が思いやりになる**のではないのでしょうか。そして、補い合って、助け合って、分かり合う中から、一緒に生きていく意味が生まれてくるのではないのでしょうか。この「**他者理解**」は、第四次草加市教育振興基本計画の重点の一つで、本校の育成すべき資質・能力の重点として掲げているものです。

私個人の思いですが、現代の人たちにはこの「感謝」「思いやり」が無くなってきているように思うのです(私もまだまだ未熟です)。大げさに言えば、日本人の良き伝統、心、感覚が失われているように感じるのです。だから、互いに傷つけ、傷つけられ、また、自己中心に考えるために相手を受け入れることができないのです。常に悪いのは相手であり、自分を客観的(自分を第三者の目を見て、冷静に自分自身を振り返ること)に見ることができないのです。すると、人間関係が築けなくなり一緒に生きていくことがとても困難になります。まさに、現代の人間関係の希薄さ(関係が薄っぺらで、相手を思いやれず、関係ない存在としてとらえること)が目に見えます。

生徒の皆さんには、この「**感謝**」「**思いやり**」を持ち続け、豊かな心を育みながら仲間と共に有意義な生活を送ってくれることを切に願います。

新田SPIRIT

~ We are tied with strong chains ~

1. 【感謝】「ありがとう」「ごめんなさい」を言います
2. 【敬愛】「いじめ」をしません
3. 【礼儀】心をこめて接します
4. 【正義】卑怯な振る舞いをしません
5. 【自律】我慢をします
6. 【努力】夢に向かって頑張ります



「新田SPIRIT」の1番に掲げていることと同じで、人として最も大切なことです。



埼玉県マスコット「コバトン」